

# 新幹線プレス

2011年7月30日 No.4

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 54才原則出向は破綻した！何故突然出向なのか！ 出向先の労働条件・業務内容を明確にしない会社！

7月29日、品川駅バス停前で東京車両所分会は、5年も途絶えていた突然の出向に抗し問題点を訴えるビラ配布行動を展開しました。

6月から交番検査者車両所の組合員が60才を目前にし、連続してJR東海労組合員3名に出向発令がだされています。組合員は突然の出向の話であり、「なぜ私なのか」「交番検査で専任社員として働けると思っていた」「59才で新たな仕事に就くのは体力的、気力面から負担が大きい」「労働条件や業務内容が明確にされていない」「このような扱いは私を最後にしてほしい」「出向期間はいつまでなのか」「専任社員と雇用されるのか」「公正・公平な出向とは思えない」「出向は止めてもらいたい」など率直な疑問を聞きました。会社は、「わからない」「54才原則出向に基づいたものです」「ここは議論する場ではない」など組合員の立場に立った回答とは言えない回答をしてきています。出向は労働条件や生活設計などが大きく変わり社員にとっては重大なことです。それを決まったことだから黙って従えという会社の姿勢は許されるものではありません。JR東海労新幹線地本は会社の対応に断固抗議します。

会社は、なぜ5年も途絶えていた出向を再開させたのでしょうか。出向の発令を受けた組合員3名はこれまでJR東海労の運動を牽引してきた大先輩です。会社はすでに破綻している54才原則出向の制度を利用し、先輩たちを職場から追い出し、JR東海労組織の弱体化を狙っているのです。JR東海労新幹線地本は、組織の弱体化を狙った出向を許さず、職場から声を出し闘っていきます。

